

環境

「環境」取り組みの基本的な考え方

「環境」分野では、環境学習、環境活動助成、環境緑化などを積極的に推進しています。特に森林は持続可能な社会の基盤であることから、社有林を適切な管理のもと、継続的に保有・保全しています。さらに、国内外で社会や地域との連携を重視した活動を進めているほか、従業員もボランティアとして自主的に地域環境の保全に取り組んでいます。

【事例紹介】

「トヨタの森」 森づくりを通して持続可能な社会づくりに貢献

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

愛知県豊田市の市街地近郊にある社有林において、かつての里山をモデルに整備するとともに、環境学習のフィールドとして活用しています。1997年より一般公開された45haにおよぶ森林には、生きものの観察など自然に親しむためのエリアや、希少な動植物の保全のためのエリアなどが整備されています。豊富な知識と経験を持つ専任のインタープリターが常駐し、地域の小学校を対象とする体験学習の受入れや、五感を使って自然を感じる様々なイベントを企画・実施しています。

【これまでの実績】

年間参加児童数：
約5,500人
累計来訪者数：約17万人
2015年、「第3回 みどりの社会貢献賞」受賞。



地域の小学生を対象とした自然体験プログラム

「トヨタ白川郷自然学校」 自然の叡智を大切に、地域に根ざした環境教育を展開

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

より多くの方に環境に対する思いを深めていただくことを目的として、2005年に白川村・環境NPOと連携し、世界遺産白川郷にトヨタ白川郷自然学校を開校しました。自然や地域との共生を大切に、地域に根ざした環境教育プログラムを充実させ、広く展開しています。「大人はトレイルを歩こう。こどもは森でたくましくなろう。」をキャッチフレーズに、大人から子どもまで楽しめる四季折々の自然体験型環境教育プログラムを通じて、自然や生物の大切さを実感いただいています。

【これまでの実績】

累計来校者数：約22万6,000人(2019年3月時点)
宿泊者数 約1万6,600人/年
プログラム参加者数 約1万2,600人/年
「第2回いきものにぎわい企業活動 環境大臣賞」
「27年度青少年の体験活動推進企業表彰 審査委員奨励賞」



生きる力が身に付く「こどもキャンプ」



専任インタープリターによる自然体験プログラム

Web <https://toyota.eco-inst.jp/>

「豊森」 都市と農山村の暮らしをつなぐ人材育成プロジェクト

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

「豊森(とよもり)」は、「豊田市」、NPO法人「地域の未来・志援センター」、TMCの三者協働で取り組む地域づくりのプロジェクトです。2009年には農山村を起点とした人材育成講座「豊森なりわい塾」を開設。公募で集まった塾生は、フィールドワークや座学を通じて、森林資源や食と農、伝統や文化を学び、自分のスタイルに合った持続可能な暮らしを模索します。講座を終えた塾生の中には、都市から農山村に移住する人、都市に住みながら農山村に通い地域の活動に参加する人などさまざま、こうした活動の組み合わせが、地域を支える力になってきています。

【これまでの実績】

2013年11月、「オーライ!ニッポン大賞」審査委員長賞受賞。
2014年4月、「第2回日経ソーシャルイニシアチブ大賞」企業部門ファイナリストに選定。

「豊森なりわい塾」累計修了者数：169人（2018年3月時点）



「豊森なりわい塾」フィールドワークの様子



「豊森なりわい塾」グループディスカッションの様子

Web <https://www.toyomori.org/>

「トヨタ三重宮川山林」プロジェクト 健全な森づくりと木材資源の活用

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

戦後、日本の山には多数のスギ、ヒノキが植えられました。国内林業の衰退により整備が遅れた過密状態の森林が多く見られます。TMCは2007年に三重県多気郡大台町の山林1,702haを取得し、山林再生の取り組みを開始。間伐遅れの森林整備を重点的に行い、水源涵養など公益的機能を発揮できる森づくりを進めています。さらに、効率的な木材生産のため、整備の低コスト化や正確な資源情報に基づく森林管理を実施しています。また、整備した森林を活用した体験学習を行ったり、当山林で生産された木材をトヨタ会館などで活用しています。

【これまでの実績】

2010年、FSC®*森林認証を取得。

2017年より森林の活用を目指す人を一般公募し3人の事業案を採用。

2018年、森林ビジネスを目指し活動を開始。

* FSC (Forest Stewardship Council®) : 環境団体、林産業者、先住民団体などにより設立された「森林認証制度」を運営する非営利国際会員制組織



山歩き、伐採見学、丸太切りなどの体験 (昂学園高等学校の生徒さん)



トヨタ会館での木材利用

「トヨタ環境活動助成プログラム」 生物多様性と気候変動をテーマにした実践的な活動を支援

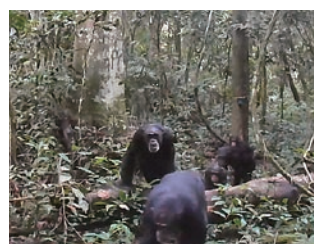
日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

TMCは世界初の量産型ハイブリッド車の発売や環境マネジメントシステムの構築、環境情報の積極的な開示などが評価され、1999年に国連環境計画の「グローバル500賞」を受賞しました。これは、「持続可能な発展」のための環境保護および改善に功績のあった個人や団体に与えられる賞です。この受賞を契機に、2000年度より、環境保全のための次世代を担う人材の育成や、実践的に環境課題解決に資するプロジェクトを推進する、民間非営利団体などの活動を公募、選考の上、助成しています。

【これまでの実績】

累計プロジェクト支援件数：約400件（世界50以上の国・地域）



ボツワナの野生チンパンジー



ヘキサチューブ(苗木の保護具)を使った植樹

(「緑の回廊」によってギニアの自然遺産ニンバ山を守る：助成団体 緑の回廊)

「TOYOTA SOCIAL FES!!」(TSF) 「次世代の環境のために」をテーマにした、一般参加型地球環境保護・保全活動

日本 | 主体：全国トヨタ販売店、地方新聞社、トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

2012年に始まった「AQUA SOCIAL FES!!」が、2018年度に、もっと地域を、もっと未来を良くするために、「TOYOTA SOCIAL FES!!」に名称を変更しました。テーマは「次世代の環境のために」。川・湖・海・山での清掃活動、外来種駆除、植樹など、地域ごとに多様な活動を、TMCと地元販売店、NPO、地方新聞社などが連携し、企画・運営しています。なかには大学が運営母体となって、企業や販売店と連携する自発的な活動も拡大しています。

さらには、大学がTSF参加を単位取得プログラムに認定したり、TSF活動をきっかけに県が環境回復費を予算化したりするなど、社会的波及効果も生まれています。

【これまでの実績】

累計開催回数：753回 (47都道府県)

累計参加人数：8万3,000人

参加者平均年齢：32.6歳 (2018年度実績)



清掃活動と鮎の稚魚の放流
(岐阜県)



湖畔を清掃して水辺の生物や風景を守ろう
(熊本県)

[Web https://aquafes.jp/top/](https://aquafes.jp/top/)

「トヨペットふれあいグリーンキャンペーン」 全国トヨペット店とともに展開する、緑豊かな街づくり

日本 | 主体：全国トヨペット店、トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

緑豊かな街づくりを目指し、地域に根ざした社会貢献活動として、公益社団法人 国土緑化推進機構の協賛を受けて1976年より毎年実施しており、2017年で42年目を迎えました。全国各地のトヨペット店が、「ふくしま (福島県産ソメイヨシノ)」など3種の苗や、トヨタが独自で開発した大気浄化能力の高い環境改善植物を各自治体へ寄贈するとともに、その他さまざまな緑化活動を自治体や地元の要望を踏まえて実施しています。また、全国各地で行われる寄贈式や植樹式には、一般社団法人 国際文化協会の協力により、ミス・インターナショナル日本代表が「緑の大使」として参加しています。

【これまでの実績】

累計植樹本数：約42万本



三木町立ししの子幼稚園の代表園児と植樹
(香川トヨペット)



網代小学校の児童と岐阜本巣特別支援学校の生徒とセレモニー (岐阜トヨペット)

[Web https://toyota.jp/toyopet/gl/greencampaign/index.html](https://toyota.jp/toyopet/gl/greencampaign/index.html)